

## 再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：東川 直正

事業名	重要物流道路 一般国道486号 新市府中 <sup>しんいちふちゅう</sup> 拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	広島県						
起終点	自：広島県福山市新市町戸手 <sup>ふくやまししんいちちょうとて</sup> 至：広島県府中市中須町 <sup>ふちゅうしなかずちょう</sup>			延長	3.4 km						
事業概要	一般国道486号は、岡山県総社市から広島県東広島市を東西に結ぶ主要な道路であるが、広島県福山市新市町戸手から広島県府中市中須町の区間は、慢性的な交通渋滞が発生している。新市府中拡幅は、渋滞の解消、地域間の連携強化等を目的とし、延長3.4 kmを4車線化する事業である。										
H9年度事業化	H8年度都市計画決定	H12年度用地着手	H17年度工事着手								
全体事業費	約264億円	事業進捗率	約51%	供用済延長	1.0 km						
計画交通量	29,900～41,600台/日										
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 4.5	総費用：(残事業)/(事業全体) 82/260億円 事業費：81/258億円 維持管理費：1.4/1.4億円	総便益：(残事業)/(事業全体) 371/371億円 走行時間短縮便益：354/354億円 走行経費減少便益：10/10億円 交通事故減少便益：6.5/6.5億円	基準年： 平成28年							
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量：B/C=1.1～1.9(交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量：B/C=3.6～6.1(交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=1.4～1.5(事業費±10%)</td> <td>事業費：B/C=4.1～5.0(事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=1.3～1.5(事業期間±20%)</td> <td>事業期間：B/C=4.2～4.9(事業期間±20%)</td> </tr> </table>					(事業全体) 交通量：B/C=1.1～1.9(交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=3.6～6.1(交通量±10%)	事業費：B/C=1.4～1.5(事業費±10%)	事業費：B/C=4.1～5.0(事業費±10%)	事業期間：B/C=1.3～1.5(事業期間±20%)	事業期間：B/C=4.2～4.9(事業期間±20%)
(事業全体) 交通量：B/C=1.1～1.9(交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=3.6～6.1(交通量±10%)										
事業費：B/C=1.4～1.5(事業費±10%)	事業費：B/C=4.1～5.0(事業費±10%)										
事業期間：B/C=1.3～1.5(事業期間±20%)	事業期間：B/C=4.2～4.9(事業期間±20%)										
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市中心部から山陽自動車道福山東ICとのアクセス向上が図られる。</li> <li>・災害時の第一次緊急輸送道路としての機能向上が図られる。</li> </ul>										
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。</li> <li>・「福山市都市マスタープラン」(H20.8策定)に、重要な幹線道路として位置付けられている。</li> </ul>										
事業評価監視委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続を妥当と認める。</li> </ul>										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺住民との合意により順調に事業推進が図られている。</li> </ul>										
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得率約57%、事業進捗率約51%</li> </ul>										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体延長3.4kmのうち、H29に1.0kmを4車線供用済。H32には更に0.75kmが4車線供用の予定。</li> <li>・全線の早期完了を目指し、残る区間の用地の取得に努めるとともに、工事を推進していく。</li> </ul>										
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。</li> </ul>										
対応方針	事業継続										
対応方針決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。</li> </ul>										

事業概要図

位置図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。